

2017年 世界肝炎デーにちなむ 肝炎啓発活動の取り組み



鳥取大学医学部附属病院



島根大学医学部附属病院



岡山大学病院



広島大学病院



福山市民病院



山口大学医学部附属病院



徳島大学病院



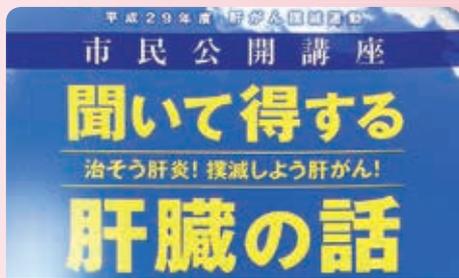
香川大学医学部附属病院



香川県立中央病院



愛媛大学医学部附属病院



高知大学医学部附属病院



ごあいさつ

2017年6月10日に、中国・四国地区の肝疾患診療連携拠点病院のスタッフが集まり、【肝疾患診療連携拠点病院 肝炎医療コーディネーター情報共有会】を行いました。情報共有会には、中国・四国地区の肝疾患診療連携拠点病院である11施設がすべて集まりました。

拠点病院活動や肝炎医療コーディネーターの養成について共通する課題もあり意見交換をしました。

意見交換の中で、肝炎医療コーディネーター養成テキストブックの共同作成や世界肝炎デーにちなみ、今年度は中国・四国地区の拠点病院が肝炎啓発活動を合同で行おうとの意見があり、各拠点病院の医師やメディカルスタッフが啓発活動を企画し、実施したことについて情報共有する運びとなりました。

様々な職種、都道府県職員や自治体と連携して活動したことを互いに知ること、拠点病院職員の肝炎啓発活動に対するモチベーション向上だけにとどまらず、都道府県の垣根を越えて連携する活動や互いのノウハウを共有する糸口になることも期待されます。

今後、各都道府県/拠点病院同士の連携をますます深めるためにご活用くだされば幸いに存じます。

岡山大学病院 消化器内科 岡田 裕之・池田 房雄

鳥取大学医学部附属病院 Tottori University Hospital

7月28日は「世界肝炎デー」。毎年この時期にあわせ、市民公開講座を開催しています。今年も米子市と倉吉市で同時開催をしました。今年はそのに加え、世界肝炎デー当日に、鳥取大学医学部附属病院正面玄関入口にて「肝炎ウイルス検査を受けましょう!!」というチラシと、ポケットティッシュを消化器内科病棟師長と一緒に配布しました。手にとり、立ち止まってみて下さる方、頑張ってねと声をかけて下さる方、たくさんの方に受け取っていただきました。翌日7月29日は米子市で「がいな祭り」があり、病棟師長をはじめ、5名の看護師さんが、暑い中米子駅前啓発チラシとポケットティッシュを配布してくださいました。

市民公開講座とはまた違い、手渡しをするときは緊張しましたが、慣れてくるにつれて、他のところでもやりたいなと思いました。また、看護師さんが積極的に活動に参加して下さい、本当にありがたかったです。

小さな活動ではありますが、これを機会に肝炎ウイルス検査を受けて下さる方がおられれば幸いです。



島根大学医学部附属病院 Shimane University Hospital

世界肝炎デーの当日（7月28日）に、松江駅で県の担当者、肝臓友の会メンバー、肝疾患相談支援センター事務とで街頭キャンペーンをしてちらし配りをしました。

昨年完成した、松江のシンボルタワーになりつつある、民放の鉄塔を当日夜間ブルーライトアップにいただきました。

8月5日は県西部の1万9千人集まる花火大会で肝炎無料検査の啓発案内を花火と一緒にしてもらい、花火大会のチラシにも、啓発のコメントを掲載していただきました。

8月6日は同地区で、肝炎無料検査および、市民公開講座を行いました。この地区は近隣に肝炎浸淫地区があり、今年の市民公開講座の会場にふさわしいと考え、選択しました。

75名が聴講し、28名が肝炎無料検査を受けました。28名中1名HBs抗原検査；陰性
HCV抗体検査；中力価陽性
で保健所から専門医療機関の受療を勧めていただきました。



● 市民公開講座



● 街頭キャンペーン



● 出前肝炎無料検査（保健所の方々と）

岡山大学病院 Okayama University Hospital

今年は、中国・四国地区の同時開催の世界肝炎デーのイベントを開催するというので、①院内ポスター展示、②マスカット球場でのイベント肝炎検診、③シティライトスタジアムでのイベント肝炎検診の3本立てで企画しました。

マスカット球場でのイベント検診（7/11）では122名受検され、シティライトスタジアム（7/30）では、283名が受検されました。

また、院内のポスター展示会では、消化器内科・小児科・肝胆膵外科・看護部（外来・西6病棟・西5病棟・東6病棟）・薬剤部・治験推進部・検査部・臨床栄養部・放射線部・リハビリテーション部・移植コーディネーター室・歯科衛生士室・肝炎相談センターと16部署から肝臓病に関連したポスターを展示しました。

様々な世代の方に、肝疾患に対する予防・受検・受診・受療・フォローアップについての情報を知っていただけたと思います。



広島大学病院 Hiroshima University Hospital

平成29年7月30日に市民公開講座が広島大学病院内の広仁会館で開催されました。こちらはWHOが認定する世界肝炎デー(7月28日)にちなんで、中国・四国地区 同時開催となりました。

この度は舛田 一成(舛田内科・消化器科)先生にC型肝炎(過去から未来へー開業医の視点からー)のテーマで、高橋 祥一(高陽ニュータウン病院)先生に肝臓と栄養についてお話をいただきました。

当日広島市内は35度の猛暑にも拘らず、計35の方が聴きにいられました。

舛田先生はC型肝炎の治療が約95%に著効が得られること、治癒後も半年ごとの通院がとても大切であるということ 강조했다。高橋先生は肝臓病になると筋力が衰える原因、その対策としては夜食(おにぎり1個)の大切さを話されました。

どちらの講演も聴衆の方は熱心にメモを取っておられました。

最後に広島大学病院の医局員による個人相談が設けられ、約20分の間、12組の方が相談を受けられました。



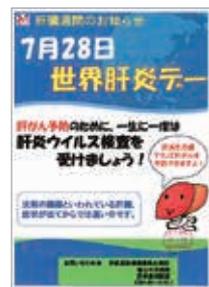
福山市民病院 Fukuyama City Hospital

当院では毎年7月に、福山市民病院主催の「肝臓病 市民公開講座」を開催しております。市民の皆さまや医療従事者の方々を対象として、坂口院長や肝臓病専門医による新しい治療や病気についての普及啓発事業として情報発信しております。

また、本年度はじめて7月半ばに、広島県薬務課を介して企業(ツネイホールディングス)への出張肝臓病教室の依頼があり、坂口院長が「肝炎対策について」というテーマで講演を行い相談員も同行させて頂きました。約50名の方々の参加があり、今後多くの職員の方々への保健指導、肝炎知識の啓発活動の呼び掛けと、“一生に一度”は肝炎ウイルス検査を受けて頂き「受検」「受診」「受療」に繋げていただける事を推進した内容でしたので今後に期待しつつ帰院しました。

さらに7月22日の「リビングふくやま」という福山市内の広報新聞にC型肝炎の記事を掲載し市民の方々への情報発信を行いました。

肝炎患相談室からは、肝臓週間に併せて「7月28日 世界肝炎デー」にむけてポスターを作成し当院の掲示板や受付などに設置して配布するようにしました。



山口大学医学部附属病院 Yamaguchi University Hospital

世界肝炎デーにちなみ、山口大学医学部附属病院では、下記の肝炎啓発活動を7月中におこないました。

①7月28日(金) 肝臓病教室の開催

「C型肝炎の最新治療」

「予防が大切!肝臓病とお口のトラブル」

「肝炎の薬と飲み合わせの薬について」

② 7月28日(金) 院内啓発

栄養治療部と協力して作成したリーフレットを院内全てのお膳に配布しました。

また、山口県で作成された肝炎検査啓発ミニのぼりを各病棟内の食堂に設置しました。(リーフレット—肝臓週間チラシ)



③ 7月29日(土) イオン防府店で肝炎啓発イベントを開催

山口県、防府市、防府市の専門医療機関(県立総合医療センター)、山口大学医学部附属病院が合同で企画し、当日は地域のコーディネーターを含め53名のスタッフが参加し、以下の活動が行われました。

- ・肝炎ウイルス検査(58名)
- ・脂肪肝検査(50名)
- ・リーフレット(グッズ付き586枚)配布
- ・風船(315個)配布



④7月30日(日) 市民公開講座の開催

徳島大学病院 Tokushima University Hospital

7/1 徳島新聞 とくしま医療最前線 「C型肝炎」掲載

7/10 知って肝炎プロジェクト 肝炎対策特別大使伍代夏子さん 知事表敬訪問(写真①)

7/24~28 「もっと知ってほしい肝臓のお話」院内ポスター展開催(写真②)

7/29 肝がん撲滅運動 市民公開講座「肝がんで死なないために」開催(写真③)

8/4 肝炎医療コーディネータースキルアップ研修会 開催(写真④)



●写真①



●写真②



●写真③



●写真④

毎年、この時期に研修会を開催しているのですが、今年は肝炎啓発活動にも力を入れました。まず、地元紙への掲載、続いて肝炎対策特別大使の伍代夏子さんが知事表敬訪問、テレビなどで取り上げられ、沢山の皆さんに興味を持っていただけました。また、今年は初めて院内でのポスター展を開催。以前に健康まつりで協力いただいた保健所の方、当院栄養部からも展示物を提供下さり外来患者さんやお見舞い客にもご覧いただき、熱心に見入っておられる方、相談室のパンフレットをもって相談にこられた方もおられました。7月29日の市民公開講座では、約120名のご参加がありました。岡山大学での情報共有会からこの中国四国ブロックで肝炎啓発の同時開催を!とのアイデアが出ましたが、当院ではもうひとつのアイデア、肝炎医療コーディネータースキルアップ研修会に岡山大学病院の難波志穂子先生に来ていただき他県での積極的な取り組みのご紹介内容に好評なご意見をいただきました。

香川大学医学部附属病院 Kagawa University Hospital

2017年6月28日、薬剤師を中心とした地域の医療従事者を対象とした肝疾患セミナーを三木町の文化交流プラザにて開催いたしました。香川大学医学部消化器神経内科学 正木勉教授より「C型肝炎の最新治療と肝炎対策事業の現状」についての講演を行いました。

また、例年行っている肝臓病教室を6月29日当院にて開催いたしました。地域の肝疾患患者およびその家族を対象とし、消化器内科 野村貴子医師による「肝臓病の栄養療法」、薬剤部 三崎彩香薬剤師による「肝臓病のお薬について」の講義を行い、アミノレバンの飲み方についての実演を行いました。参加者の皆さんにはご好評いただき、閉会いたしました。

今年度の肝炎デーのイベントとしては、9月10日(日)かがわ国際会議場にて肝がん撲滅運動 市民公開講座を開催いたしました。次年度は、中国・四国地区で行う肝炎啓発活動に合わせた事業活動に積極的に取り組んでいきます。



香川県立中央病院 Kagawa Prefectural Central Hospital

毎年7月28日はWHOが定めた「世界肝炎 DAY」となっています。先日開催された「中国・四国地区肝疾患診療連携拠点病院 肝炎治療コーディネーター情報共有会」にて、「世界肝炎 DAY」に合わせて中国・四国地区同時開催で肝炎啓発活動を行うということになりました。それに伴い、当院では7月29日(土)に東かがわ市交流プラザにて「市民公開講座及び出張無料肝炎ウイルス検査」を実施しました。「出張無料肝炎ウイルス検査」は昨年度から当院でも開催するようになった活動で、昨年度は約400名の方々にご参加いただき、実際にB型肝炎・C型肝炎陽性者の掘り起こしをすることができました。今回は当院肝臓内科高口医師を講師として、「C型肝炎の最新治療」というテーマで市民公開講座も同時に行い、予想を超える104名(うち採血実施者は103名)が来場され、大盛況のうちに幕を閉じました。当院では今後もこのような活動を継続して肝炎患者の掘り起こしを続けていきます。



愛媛大学医学部附属病院 Ehime University Hospital

7月29日に街頭キャンペーンを行いました。今年は、世界肝炎デーの肝炎啓発活動を中国・四国地区の各地で同時開催しています。

伊予鉄高島屋前の坊ちゃん広場周辺で行いました。猛暑の中、大学からは肝疾患診療相談センター、看護部（消化器疾患病棟、内科外来）、総合診療サポートセンター、栄養部、大学外からは愛媛県健康増進課、協会けんぽ愛媛支部、松山市保健所、愛媛新聞、さらには患者さんたちも参加していただきました。えひめ国体の準備で多忙の中、みきゃん、ダークみきゃんもかけつけてくれました。今年は初の試みとして愛媛県の協力により、坊ちゃん広場に近い「ギャラリー黒猫」にて無料肝炎ウイルス検査を行いました。開始前から並んでくださっていた方もおられ、全部で39名の方が受検されました。

また、今年も7月28日には、いよてつ高島屋のくると松山城が肝炎デーのシンボルカラーであるライトブルーにライトアップされました。



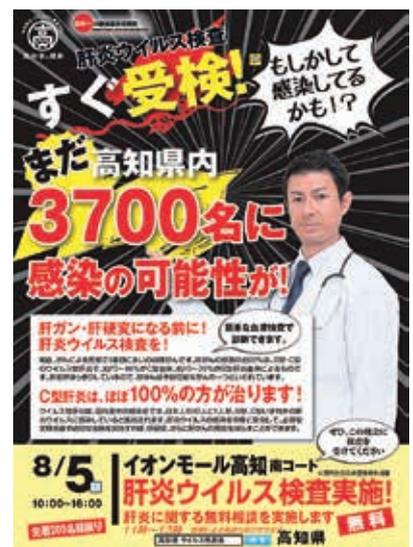
高知大学医学部附属病院 Kochi Medical School Hospital

当院では世界肝炎デーにあわせて市民公開講座を開催致しました。

多くの方に参加をしていただくため、パンフレットを近隣の医療機関に配布したり、院内にて掲示、また第一内科を受診された患者さんへ配布し、30名の方が聴講されました。

さらに、若い世代の参加を募集するため、ツイッターを使ってハッシュタグをつけてみるなどの試みもしました。フォロワーさんの多い方に協力して頂き、多く拡散されると情報提供の効果があると思われるため、今後も工夫が必要と思うところです。

また、最近の活動としては、こちらは初の試みとして、高知県が行ったイオンでの肝炎イベントに飛び込みで医師と一緒に出張肝炎相談を行ってきました。こちらでは、200人の肝炎無料採血は達成したとのことでした。来年は、ぜひ計画から参加させて頂きたいと考えております。



鳥取大学医学部附属病院

〒683-8504 鳥取県米子市西町36番地1
TEL 0859-38-6525

島根大学医学部附属病院

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1
TEL 0853-20-2193

岡山大学病院

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2丁目5-1
TEL 086-235-6851

広島大学病院

〒734-8551 広島県広島市南区霞1-2-3
TEL 082-257-1541

福山市民病院

〒721-8511 広島県福山市蔵王町5-23-1
TEL 084-941-5151(内 3146)

山口大学医学部附属病院

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1
TEL 0836-85-3976

徳島大学病院

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1
TEL 088-633-9002

香川大学医学部附属病院

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1
TEL 087-891-2468

香川県立中央病院

〒760-8557 香川県高松市朝日町一丁目2番1号
TEL 087-811-3333(内 2201)

愛媛大学医学部附属病院

〒791-0295 愛媛県東温市志津川
TEL 089-960-5955

高知大学医学部附属病院

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
TEL 088-880-2338, 2339

発行日 2017年10月16日

企画 岡山大学病院 池田 房雄
山口大学医学部附属病院 日高 勲

執筆 鳥取大学医学部附属病院 太田 瞳
岡山大学病院 犬山奈穂美
福山市民病院 堀 美幸
徳島大学病院 立木佐知子
香川県立中央病院 森田 康之
高知大学医学部附属病院 堀野 美香
島根大学医学部附属病院 佐藤 秀一
広島大学病院 宮本 由美
山口大学医学部附属病院 増井美由紀
香川大学医学部附属病院 長内 恵里
愛媛大学医学部附属病院 渡辺 崇夫

監修 岡山大学病院 高木章乃夫

編集 岡山大学病院 山崎 典子／小坂 啓子／亀川 勝典／難波志穂子

印刷 株式会社中野コロタイプ